

# 北広島町の脱温暖化に関する取組み

北広島町の脱温暖化に関する取組み



# 北広島町の取組み

年度	種別	概要
H13		千代田庁舎太陽光発電所(H13~14)【千代田町】
//		BDF精製所開設(NPO法人)【大朝町】
H15		川小田小水力発電所供用開始【芸北町】
H18		「北広島町環境保全に関する条例」制定(H19.2)
//		「北広島町地域新エネルギービジョン」策定(H19~H28)
//		「北広島町バイオマスタウン構想」策定
H19		「防犯灯設置補助金」開始
H20		ペレット製造施設開設(民間企業)
//		公共施設にペレットストーブ8台導入(H20~22)
H21		一般家庭への太陽光発電システム導入補助金を開始(H21~23)

# 北広島町の取組み

年度	種別	概要
H21		「北広島町生物多様性の保全に関する条例」(H22.3)
//		「新エネ百選」選出
//		「北広島町次世代エネルギーパーク計画」認定
H22		道の駅太陽光発電・省エネ化
H23		資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動
H24		芸北せどやま再生事業開始
//		「生物多様性きたひろ戦略」策定(H25.3)
H25		公共施設に薪ストーブ2台導入
H26		町民プールにペレットボイラー導入
//		温浴施設に薪ボイラー導入

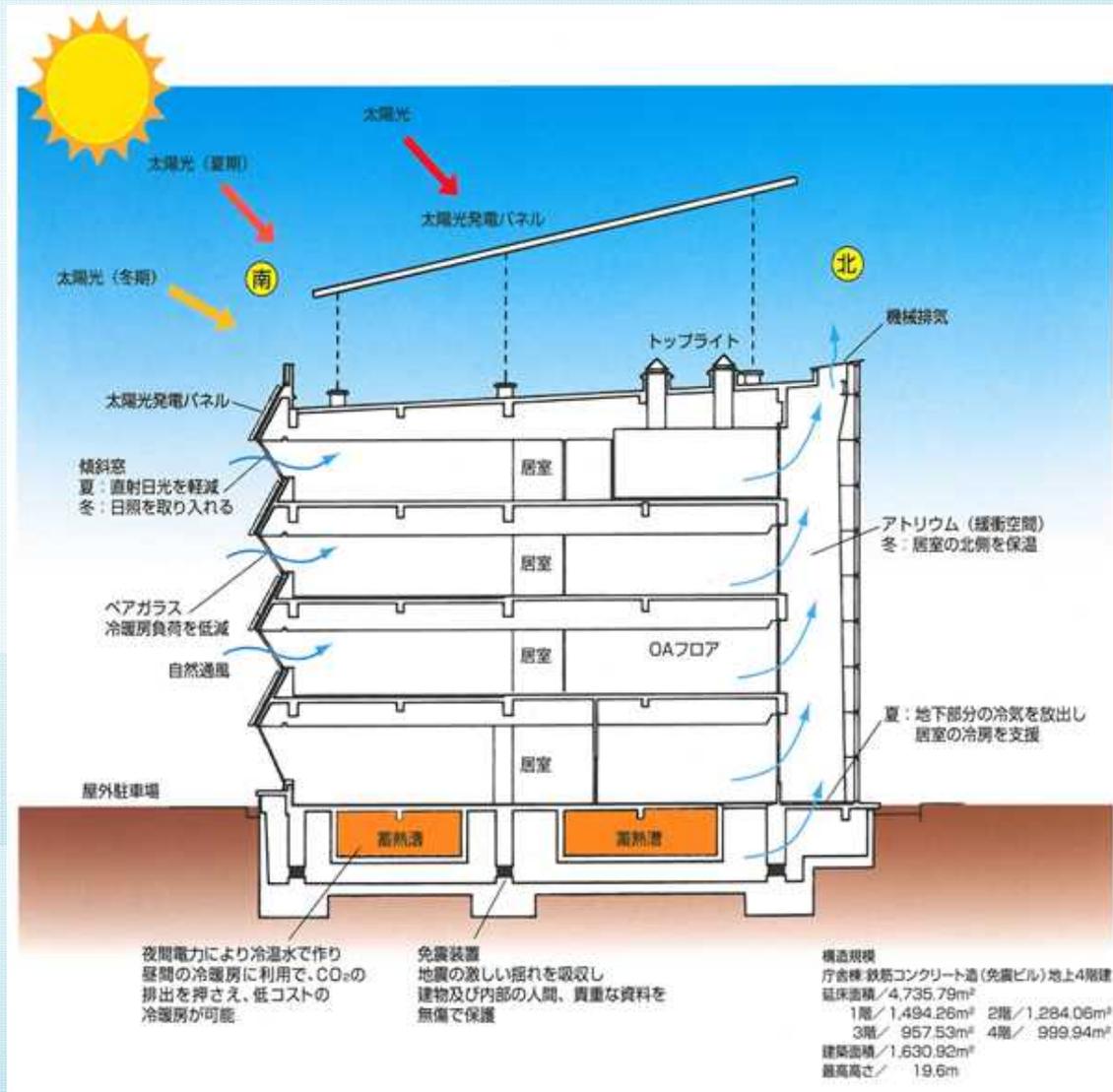
# 北広島町の取組み

年度	種別	概要
H26		EV用急速充電設備を3か所に配備
H27		公共施設23棟にて屋根貸し事業を開始
//		一般家庭への薪ストーブ導入補助金を開始(H27~)
H28		EV車を3年リースで導入
//		「北広島町環境基本計画」策定(H29~H38(2026))
H28		「生物多様性きたひろ戦略~薪活編~」策定(H29.2)
H29		地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE(=賢い選択)」賛同(H30.2)
H30		北広島町もくもくクレジット(J-クレジット)発行
R1		「北広島町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」策定(R2.3)
R1~2		NEDO実証実験受託

# 千代田庁舎太陽光発電

## ＜本庁舎の構造＞

- ◆ 環境にやさしい  
CO2排出削減  
南面に傾斜窓
- ◆ 災害に強い  
免震装置の採用  
48時間自家発電
- ◆ 人にやさしい  
バリアフリーの採用



# 千代田庁舎太陽光発電



- ◆ 2001～2002年完成
- ◆ 最大出力 158kW
- ◆ 総事業費 1.65億円
- ◆ 発電量 約100,000kWh
- ◆ 消費電力の10%をカバー
- ◆ 翼のようなフォルムの太陽光パネルが特徴
- ◆ 庁舎壁面のパネルは80度の傾斜がある
- ◆ 再生可能エネルギーの普及啓発を目的に設置

# 千代田庁舎太陽光発電



- ◆ 環境配慮型官庁施設計画指針（グリーン庁舎計画指針）に基づき、太陽光発電システムの導入を検討。

## グリーン庁舎計画指針（国交省）

官庁施設についてCO2排出量の削減を図るため、太陽光発電、複層ガラス、設備機器の効率化等の環境負荷低減技術を活用したグリーン庁舎の整備、既存官庁施設のグリーン改修等を推進。（H10.3）

# 千代田庁舎太陽光発電



- ◆ 財源は、経済産業省のフィールドテスト事業と地域新エネルギー導入促進事業を活用することで負担を抑えた。

屋根(100kW)

事業費 108,310千円  
うち補助1/2

壁面(58kW)

事業費 57,277千円  
うち補助1/2

# BDF精製所(NPO法人)



- ◆ 平成13年開始
- ◆ 処理能力 100ℓ/日
- ◆ 製造量 18,000/年
- ◆ 導入費用 約1,100万円
- ◆ 一般家庭から排出される廃食油からBDF(バイオディーゼル燃料)を精製するプラントを導入し、精製したBDFは町内巡回バスに利用していた。

# 川小田小水力発電所



- ◆ 平成15年供用開始
- ◆ 最大出力 720kW
- ◆ 総事業費 14.03億円  
うち補助 8.32億円
- ◆ 発電量 4,000,000kWh  
うち施設消費 22%  
売電 78%
- ◆ 売電単価 11.9kWh/円(税抜)
- ◆ 売電収入 4,600万円  
起債償還 3,040万円

# 北広島町環境保全に関する条例

◆平成17年2月策定

◆目的(第1条)

環境の保全及び創造について、基本理念を定め、北広島町(以下「町」という。)、町民等、事業者及び所有者等の協働のもとに、それぞれが果たすべき役割を明らかにし、本町の良好な自然環境及び生活環境(以下「良好な環境」という。)を保全するとともに町民の健康で安全かつ快適な生活を営むことのできる環境を確保、創造し、もって住みよい郷土の実現を期することを目的とする

◆基本理念(第3条)

環境の保全は、現在及び将来の世代の町民が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに、人類の生存基盤である環境が将来にわたって維持されるよう適切に行わなければならない。

2 環境の保全は、恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら持続的に発展することができる社会が構築されることを旨として、町、町民等、事業者及び所有者等の全ての者の公平な役割分担の下に、自主的かつ積極的に行わなければならない。

3 地球環境の保全は、人類共通の課題であるとともに町民の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上での課題であることに鑑み、全ての事業活動及び日常生活において自主的かつ積極的に着実に推進されなければならない。

◆環境基本計画の策定(第9条)環境審議会の設置(第10条)、公害の防止(第17条)、空き地等の環境保全(第26条)等

# 北広島町地域新エネルギービジョン

## 北広島町地域新エネルギービジョン

概要版



平成19年2月  
広島県北広島町

- ◆ 平成19年2月策定
- ◆ 平成9年度旧芸北町、平成15年度に旧千代田町で策定された地域新エネルギービジョンをもとに、合併後、長期総合計画におけるまちづくりの方向性を、環境・エネルギーの分野から具現化する計画として策定
- ◆ 中山間地域型の「資源循環型社会」の具体的な方向性を明示することにより、町内における新エネルギーの取り組みの計画的・体系的な導入推進を図ることを目的としている。

# 北広島町地域新エネルギービジョン

## 新エネルギー導入プロジェクト

### 菜の花ECOプロジェクト

菜の花の栽培から、菜種油の利用、廃食油の回収、BDF(バイオディーゼルの燃料)の製造・利用、残渣の利用にいたる利用システムの構築を図ります。また、畜産廃棄物や農業残渣、生ごみ等のバイオマス活用も検討し、資源循環型のグリーンなまちづくりを目指します。



**菜の花ECOプロジェクトの資源循環リサイクル**

菜の花栽培の奨励  
菜種油の利用促進  
(ふるさと産品化・地産地消)  
廃食油回収システムの充実  
BDFの利用促進  
農業廃棄物/バイオマスの活用

BDF製造装置 資料:HYOJIN JUNE DASA

BDF利用トラック

菜種の収穫

### 自然エネルギー活用プロジェクト

様々な新エネルギー設備等の導入、活用を推進し、自然エネルギーを有効に活用するまちづくりを進めます。導入された設備は、子どもたちの学習・教育や普及啓発などに積極的に活用します。



太陽光発電システムの普及  
太陽熱利用設備の普及  
風力発電設備の設置・活用  
小水力(マイクログ水力)発電設備の導入  
温度差エネルギーの利用

太陽光発電利用イメージ  
資料:NEP (財団法人新エネルギー財団)

太陽光ハイブリッド  
風力発電

温度差エネルギー利用イメージ  
資料:メーカHP

小水力発電・木製水車  
資料:小水力発電推進所

## ECOエネルギータウン北広島町

### 木質バイオマス利用プロジェクト

豊富な森林資源をバイオマスエネルギーとしての活用を推進し、地域資源の有効活用、林業を中心とした地域産業振興を推進するとともに、森林の機能保全を図ります。  
※バイオマスエネルギー=動物のふん尿や植物、生ごみ、草木などから取り出すエネルギー



木質加工廃材(チップ、ペレット)の熱利用  
バイオマス燃料の製造・利用  
(エタノール、木素など)  
発電設備の導入・利用

ペレット

加工

炭化

CO<sub>2</sub>

バイオマス  
エネルギー(燃料) エネルギー利用(燃焼)

バイオマスエネルギーはCO<sub>2</sub>を増やしません。

ペレットストーブ

ペレットボイラー

### 協働推進プロジェクト

学校や地域での学習・教育、広報や普及啓発活動を通して、エネルギーや環境問題への理解と意識の高揚を図り、地域が一体となった協働体制づくり、および広域連携による取り組みを推進します。



エコスクールの推進  
(学校におけるエネルギー学習・教育)  
生涯学習としてのエネルギー・環境学習の推進  
広報、普及啓発活動の推進  
エネルギー・環境事業等への支援

### クリーン・省エネルギー自動車導入プロジェクト

公用車へのクリーンエネルギー自動車の導入検討、クリーン燃料(BDF、エタノールなど)の利用とともに、一般への普及を促進します。



ハイブリッド自動車

燃料電池自動車

BDF混合軽油使用の  
大輸送「ホープバス」

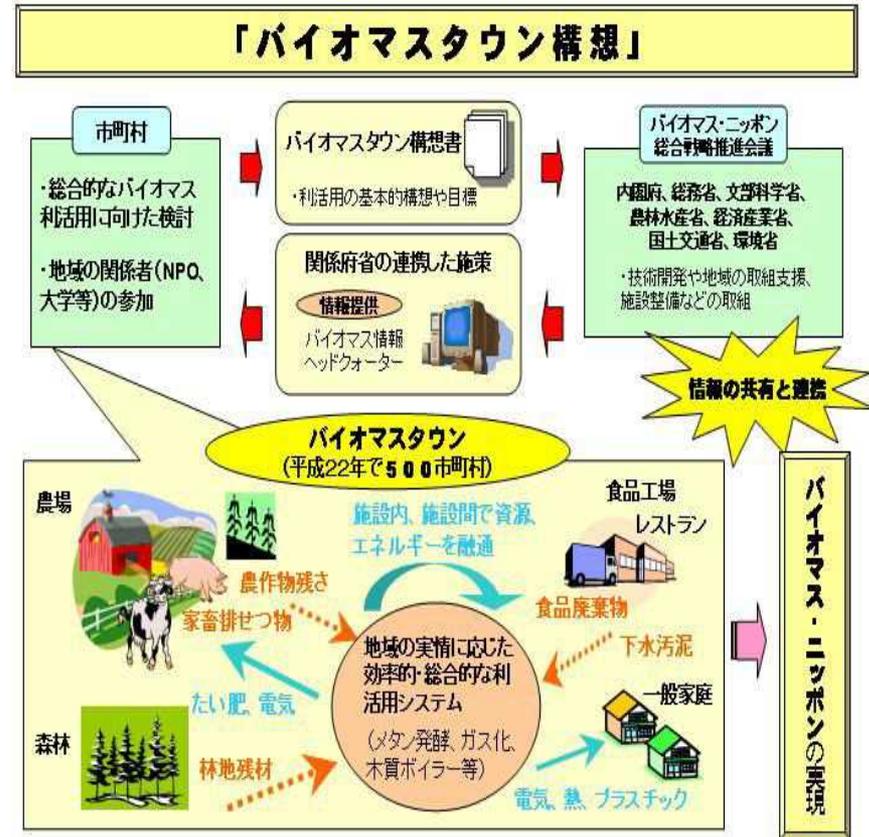
資料:従公車車体IDプロック

# 「北広島町バイオマスタウン構想」策定

◆バイオマスタウンとは、バイオマスの利活用を推進する国の方針に沿って、地域に賦存する廃棄物系バイオマス90%以上、または未利用バイオマスの40%以上を有効に活用するための構想を策定した市町村等を指します。

国では、平成22(2010)年までに全国で300市町村のバイオマスタウン構想策定を目指すこととし、バイオマスの一層の導入促進を図っています。

◆平成19(2007)年4月26日のバイオマスタウン構想(第19回)の公表において、「北広島町バイオマスタウン構想」が県内2番目の構想として公表されました。(全国では97市町村が公表)



【資料】「バイオマス情報ヘッドクォーター(Webサイト)」より

## 北広島町バイオマスタウン構想の策定目的

- バイオマスエネルギーの利用推進で化石燃料の消費量削減＝地球温暖化対策
- 廃棄物系バイオマスの利活用による環境保全効果の創出
- バイオマス利活用推進に伴う地域・広域の連携(絆)強化、食育・農育・木育の推進
- 農林業の振興並びに、地域の活性化(魅力アップ)

# 防犯灯設置補助金

- ◆平成19年度～実施
- ◆地域住民の生活と安全を守るため、地域住民組織が設置する防犯灯の経費の一部を補助する。
- ◆新設やLEDへの転換に要する経費に対して、1灯につき5千円

# ペレット製造施設（民間企業）



- ◆ 平成20年開始
- ◆ 処理能力 300t/年  
(100~250kg/h)
- ◆ 製造量 100t/年
- ◆ 販売価格 650円/15kg
- ◆ 製材所が製造している
- ◆ 製造されたペレット50tは町民プールの燃料に利用し、残りは一般向けに販売している。

# 木質ペレットストーブ



- ◆ 平成20～22年度導入
- ◆ 導入費 約50万円/基
- ◆ 暖房出力 8.2～13.1kW
- ◆ 燃料消費量 1～3kg/h
- ◆ 県事業の「ひろしまの森づくり事業」を活用して、町内の公共施設にペレットストーブを導入。



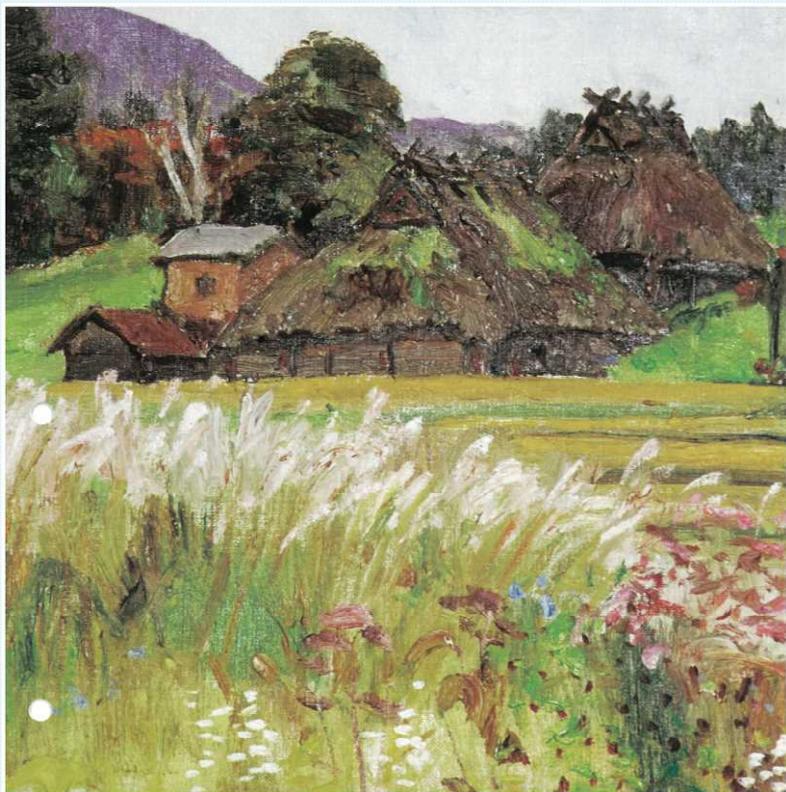
# 太陽光発電システム導入補助金事業



- ◆ 平成21～23年度事業
- ◆ 環境省補助金「地域グリーンニューディール基金事業」を活用
- ◆ 太陽光発電システムと省エネルギー設備をセットで設置する者に対し、7万円/件を交付
- ◆ 3年間の実績

130件(910万円)

# 北広島町生物多様性の保全に関する条例



伝えたい  
いのちの輝き

北広島町生物多様性の保全に関する条例

◆平成22年3月策定

◆北広島町にある豊かな自然環境を保全し、持続可能な方法で活用することにより、生物多様性を町民共有の財産として次代に承継し、自然と共生する町民の健康で快適な生活を将来にわたって確保するために制定。

◆経緯

まちづくりをすすめる中で、自然も一つの重要な観光資源であると位置付けられましたが、一方で、観光を推進することによって生じる様々な問題があり、野生生物の保護に関する条例を整備することになりました。

◆生物多様性

種の多様性、生態系の多様性、遺伝子の多様性。私たちの生活も、生物多様性をもたらす価値に支えられ、成り立っています。

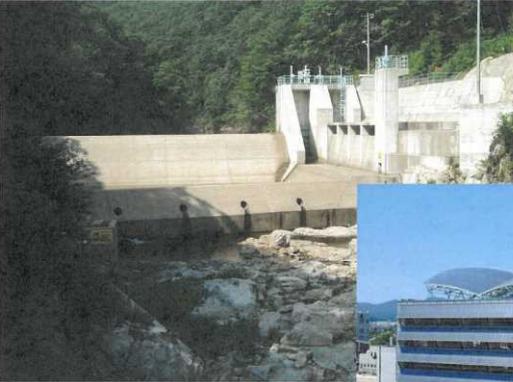
◆野生生物の種の取扱い(第2章)、生態系の保全等(第3章)、外来種対策(第4章)、維持・回復事業(第5章)、推進体制の整備(第6章)

# 「新エネ百選」認定

水力エネルギー

新エネ百選

北広島町自然エネルギー活用プロジェクト  
広島県 北広島町




新エネルギー導入の取り組み

内 容	平成14年度に、720kWの水力発電設備を導入。 庁舎に設置した158kWの太陽光発電設備とともに、新エネルギーの普及啓発の中心になっている。
特 長	水力発電の他、太陽光、バイオマス等の新エネルギー導入も積極的に展開
導 入 先	山間部、庁舎
主な設備	小水力発電設備 太陽光発電設備



◆平成21年6月認定

◆NEDOと経済産業省は、2008年秋より、地方公共団体、事業者等により実施された新エネルギー等導入事業を公募し、地域の特性などを考慮しつつ、全国各地における新エネルギー等利用の優れた取り組みを「新エネ百選」として選定しました。

地域の特性などを考慮した全国の新エネルギー等利用などの取り組みを評価し、47都道府県からもれなく、優れたものを「新エネ百選」として選定しました。これを広く情報発信することで、各地域における新エネルギー導入の好事例として、新エネルギーを全国に広めていくことを目的としています。  
(NEDOのホームページより)

# 「北広島町次世代エネルギーパーク計画」認定

豊かな自然の財産を生かす、  
未来につながる町づくり

平成21年度認定



太陽光発電 バイオマス発電 水力発電

## 北広島町次世代エネルギーパーク



### 四季折々の風景の中で 次世代エネルギーを体験！

2009年6月1日に「新エネ百選」に選定された庁舎太陽光発電システムと川小田小水力発電をはじめとする、豊かな自然を生かした施設が中心。その他にも、家庭から出る廃油を使ったバイオディーゼルの燃料や地元木材を熱利用する「せどやま再生事業」など、民間事業者の取り組みと合わせて、可くるみでエネルギーパークを構成しています。「自然を生かす環境づくり」「新エネルギーを活用する環境づくり」「みんなで作るECOエネルギーづくり」の3本柱で、誰もが楽しく学べる場を創出しています。

### Data Watch

北広島町 総発電容量 庁舎太陽光  
100kW、川小田小水力 合計  
158kWの発電能力を持つパネ  
ルを設置しています。

# 158

### おすすめ 見学コース

地域が育んできた森や清流、里山、田畑などの豊かな自然の恵み。それらを生かした自然エネルギーの貴重な財産として、将来にわたって継承することができるよう、地域が育んできた自然エネルギーの活用に取り組んでいます。

#### ① 庁舎太陽光発電

二酸化炭素の削減、庁舎光熱費の削減、新エネルギーの普及啓発を目的に、庁舎屋上へ100kW、壁面へ58kWの発電能力を持つパネルを設置。パネルのデザインには「未来へ羽ばたく」という意味が込められています。



#### ② わき環境公園

バイオディーゼルの製造を行っています。町内各地に廃食油回収ステーションを設置し、回収した廃食油からバイオディーゼルの燃料(BDF)を製造。



#### ③ せどやま再生事業

裏山整備で搬出された木を薪に加工し、ストーブなどの燃料に利用しています。流通には地域通貨を活用。山林の景観および生態系の保全、地域経済の活性化、エネルギーの自給自足を目的としたプロジェクトです。



#### ④ 川小田小水力発電所

この地域に存在する豊富な水資源や急峻な地形を生かして、最大出力20kWの小水力発電を2003年に建設。電力は地元温泉施設などで利用し、農業振興や都市農村交流を推進しています。



### 詳しい施設情報はこちら

北広島町民課 環境管理係  
TEL: 059-5812-2111 FAX: 0826-72-5242  
MAIL: kankyo@kitahiroshima.lg.jp  
https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/7/1318.html

◆平成21年8月認定

◆次世代エネルギーパークとは、再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーに、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方に関する理解の増進を図る計画を、経済産業省資源エネルギー庁が認定するものです。(全国で66件)(経済産業省資源エネルギー庁ホームページより)

◆見学コース等を掲載

◆実施運営主体:北広島町新エネルギー・バイオマス利活用促進協議会

# 道の駅太陽光発電・省エネ化



- ◆ 平成22年度供用開始
- ◆ 広島県市町施設省エネ・グリーン化支援事業補助金を活用(補助率10/10)
- ◆ 太陽光発電システムの設置とLED照明化を実施
- ◆ 最大出力 10.26kW
- ◆ 総事業費 約1,600万円



# 芸北せどやま再生事業



- ◆ 平成24年事業開始
- ◆ 日本自然保護大賞(H27)
- ◆ ふるさとづくり大賞(H27)
- ◆ 環境白書2016(環境省)
  
- ◆ 森林を活用する方法として  
地元での買取と地域通貨  
に替えながら森林を経済と  
して循環させる仕組み

# 芸北せどやま事業の仕組み

薪活！



# 芸北せどやま再生事業



- ◆ 年間取引量 約350t
- ◆ 年間販売額 約600万円
- ◆ 薪の製造量 160t/年
- ◆ 出荷登録人 60名
- ◆ 初期費用350万円(県補助)  
うち地域通貨 70万円
- ◆ 広葉樹引取 6,000円/t
- ◆ 販売 薪 45,000円/t  
原木 18,000円/t

# 環境教育



芸北せどやま再生事業では、環境教育、環境学習にも力を注いでおられます。

小学校教育の一環として、木の搬出とその分の地域通貨の利用体験授業を通じた後継者育成も行われています。

まずは大人の仕事ぶりを見つつ、ノコギリの使い方などのレクチャーを受けます。次は実際に木を切ったり、トラックまで運ぶ作業をします。

子どもたちも、大人と同様に労働の対価として地域通貨を受け取ります。

# 生物多様性きたひろ戦略



- ◆ 平成25年3月策定
- ◆ 平成22年3月に制定された「北広島町生物多様性の保全に関する条例」に基づき策定された。
- ◆ 生物多様性きたひろ戦略は、北広島町が持つ生物多様性を保全しながら持続的に活用していくための基本的な戦略および戦略策定のための資料となる。

# 公共施設に薪ストーブ2台導入



- ◆ 平成25年度導入
- ◆ 最大出力 23.4kW
- ◆ 燃料消費 0.64kg/h
- ◆ 消費 24t/年(2台分)
- ◆ 暖房効果が高く、癒しの効果も期待できる薪ストーブを、雪深い地域の温浴&宿泊施設へ導入した。
- ◆ スローライフな生活に憧れる方の心を掴んでいる。

# ペレットボイラー導入

## － 千代田運動公園温水プール Sui Sui －



- ◆ 平成26年度導入
- ◆ 最大出力 349kW
- ◆ 燃料消費量 78kg/h
- ◆ 本体価格 約1千万円
- ◆ 左側 ペレットボイラー  
消費量 109t/年
- ◆ 右側 灯油ボイラー  
消費量 21kL/年

# 温浴施設に薪ボイラー導入 芸北オークガーデン



- ◆ 平成26年度導入
- ◆ 最大出力 170kW
- ◆ 燃料消費 48kg/h
- ◆ 薪ボイラーと重油ボイラーを併用している
- ◆ 消費量
  - 薪 300t/年
  - 重油 40kL/年

# EV用急速充電設備を3か所に配備



◆平成26年度導入

◆経済産業省の次世代自動車充電インフラ整備促進事業、県補助金、自動車会社のインフラ支援金等を活用

◆設置費 約1千万円/基

◆維持費 約60万円/基・年

◆設置場所

道の駅舞ロード千代田

道の駅豊平どんぐり村

芸北オークガーデン

# 公共施設23棟で屋根貸し事業



- ◆ 平成27年度開始
- ◆ 平成24年3月の電気事業法施行規則の一部改正で建物の所有者とは異なる者が太陽光パネルを設置する形態、いわゆる屋根貸しが可能となった。
- ◆ 自治体では神奈川県がいち早く「屋根貸し事業」を開始したと言われている。

# 公共施設23棟で屋根貸し事業



## メリット

- ◆ 遊休地の有効活用
- ◆ 再エネの普及促進
- ◆ 災害時の電力を確保
- ◆ 再エネ設備の導入に際して初期投資が不要
- ◆ 固定価格買取制度(FIT)が適用される20年間で安定した歳入が見込める。

# 公共施設23棟で屋根貸し事業



## 使用条件

- ◆ 災害時に電力供給が停止した場合は、屋根と一体の施設へ電力供給を行うこと
- ◆ 電力停止状態でも太陽光発電システムが自立運転できるように非常用電源を配備すること
- ◆ 学校には容量1kWh以上の蓄電池と発電量表示パネルを設置すること

# 公共施設23棟で屋根貸し事業



## 事業実績

- ◆ 公共施設 19か所
- ◆ 合計出力 1,133kW
- ◆ 発電量 約100万kWh/年
- ◆ 町歳入 約200万円/年

## 事業期間

- ◆ 20年間

# 薪ストーブ導入補助金事業



- ◆ 平成27年度開始
- ◆ 薪ストーブの設置に要する費用の1/2(上限10万円)
- ◆ 屋根貸し事業収入を充当

H27実績	7件
H28実績	10件
H29実績	6件
H30実績	3件
R元実績	5件
R2実績	2件
R3実績	6件

# EV車を3年リースで導入



- ◆ 平成28年～30年度
- ◆ 日産自動車が主催する「e-NV200 PRモニターキャンペーン」に当選。
- ◆ 3年の無償リース期間中の負担は貸与車両の保険料と充電費用(約3千円/月)のみで利用できる。
- ◆ 冬季を除き、開庁日は毎日、管内80kmを走行した。

# 北広島町環境基本計画

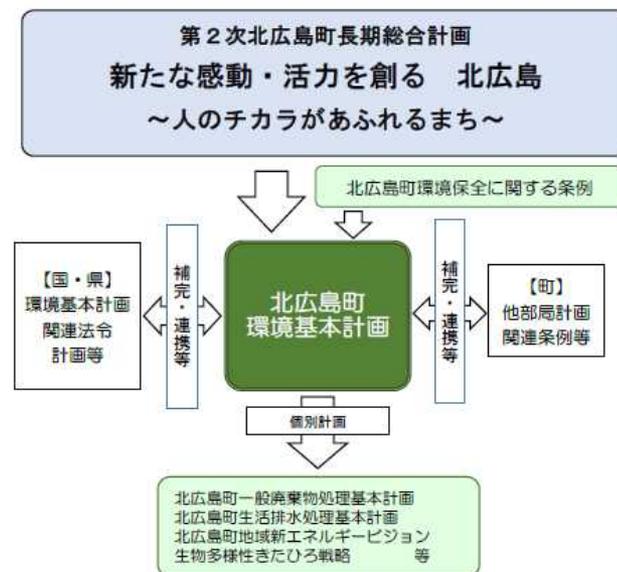
## 北広島町環境基本計画

自然と人の**温もり**があふれるまち 北広島町

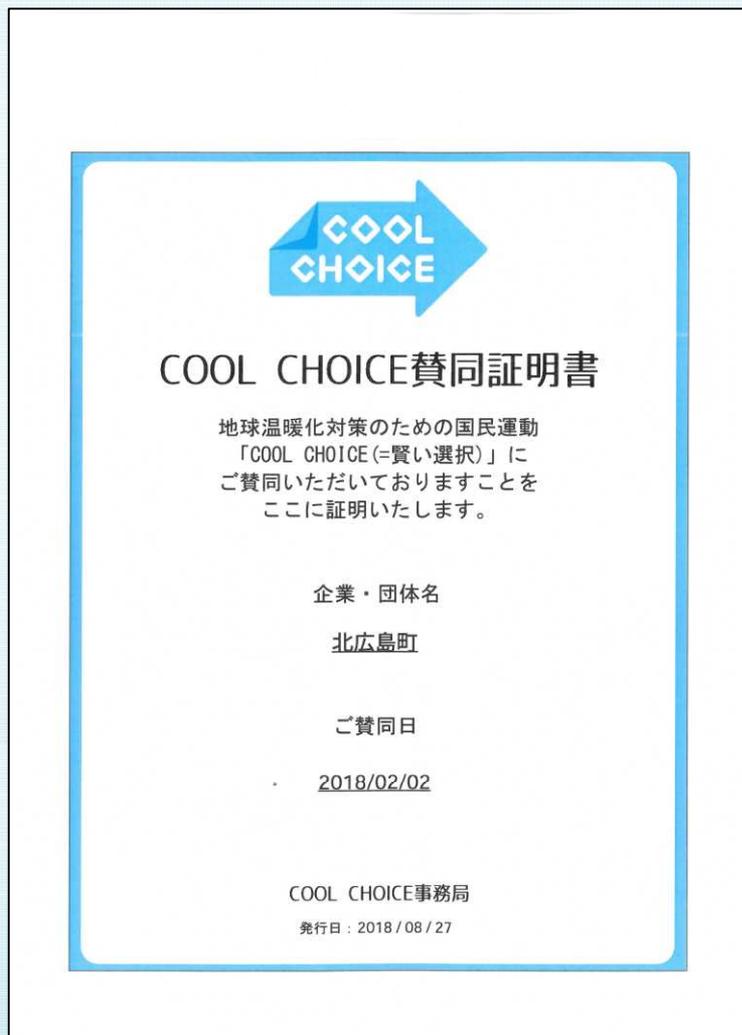


平成 29 年 3 月  
広島県北広島町

- ◆平成29年3月策定
- ◆本計画は、国や県の環境基本計画などと補完・連携し、平成29（2017）年に策定された「第2次北広島町長期総合計画」のめざすまちの将来像の具現化に向け、環境の分野における取組を示すもの。



# COOL CHOICE 賛同



◆2018年2月2日賛同

◆COOL CHOICEは、

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」のこと。

◆日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を26%削減(※2013年度比)する目標を掲げています。

「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしようという取組です。個人・企業・団体で取り組みます。

◆庁舎内では、「節電」「室温の適正化」「リサイクル」「エコドライブ」「スマートドライブ」「クールシェア」に取り組みます。

# 北広島町もくもくクレジット(J-クレジット)



◆J-クレジット制度とは、省エネルギー機器の入や森林経営などの取組によって生まれたCO<sub>2</sub>などの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。認証されたクレジットは、CO<sub>2</sub>排出量を削減した者と、CO<sub>2</sub>を削減したい者の間で取引(売買)でき、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど様々な用途に活用することができます。

◆北広島町芸北オークガーデンでは、温泉の加温のためA重油ボイラーが設置されていましたが、2015年に薪ボイラーを増設し、地域資源である薪を利用するようになりました。これにより、A重油の使用量が70%程度減り、このCO<sub>2</sub>排出削減効果をJ-クレジット化しています。

## ◆実績

令和元年度 舞ロード千代田「導神楽の日」

令和2年度 ユートピアサイオト スノーフェスティバル

令和3年度 ひがしひろしま環境フェア

# 生物多様性きたひろ戦略 薪活！編

## ～ササユリ咲くまちづくり計画～

基本構想

北広島町生物多様性条例

基本計画

北広島町生物多様性きたひろ戦略

実施計画

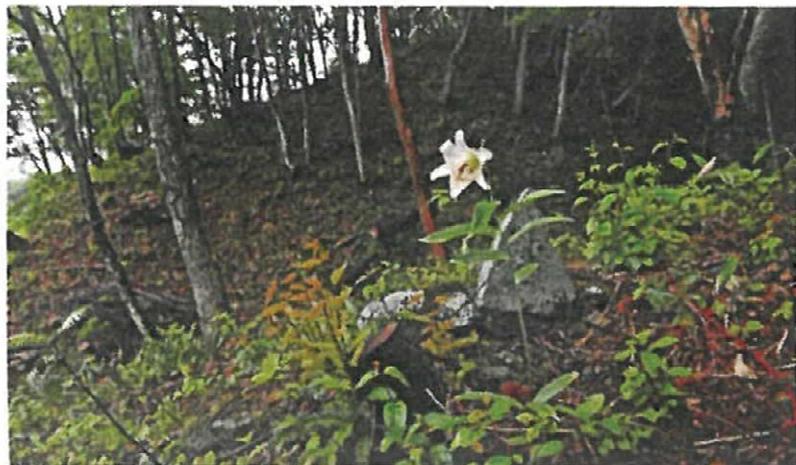
生物多様性きたひろ戦略 薪活編  
～ササユリ咲くまちづくり計画～

◆平成29年2月策定

◆「生物多様性きたひろ戦略」のうち、主に木質バイオマスの活用によるせどやま管理の推進策としてとりまとめました。

- ・木質バイオマスの活用
- ・生物多様性の保全
- ・薪活！体験の推進

◆北広島町の町花「ササユリ」は、人の手がいった明るい環境でしか花を咲かせません。「ササユリ」をシンボルとし、豊かなせどやまが再生されることを願って、計画名にしました。



# 資源ごみリサイクルの取り組み

## 【資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動】

◆平成23年度～

◆目的：町民のリサイクル意識の向上、  
ごみの減量化

◆内容

登録団体（行政区、子ども会、女性会、PTA等）が集めた資源ごみの量に応じて、報奨金を交付する

◆対象品目

古紙（新聞・雑誌・ダンボール・ざつ紙など）、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、衣類、びん類、廃食油

◆助成金額

資源ごみの量1kgにつき7円

## 【使用済み小型家電のボックス回収】

◆平成30年12月～

◆「使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」（小型家電リサイクル法）に基づき、使用済みの小型家電を回収。小型家電に含まれる希少金属を回収し再生利用することを目的としています。

◆対象品目

パソコン、通信機器、家電（家電リサイクル品目を除く）等

◆回収場所

本庁、各支所、サンクス

## 【資源ごみ分別拠点回収モデル事業】

◆平成31年度～

◆資源ごみ回収拠点の協力していただける団体を募集

◆対象品目

町民総ぐるみ運動対象品目＋びん類

◆モデル団体

4団体

# 北広島町地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

◆令和2年3月策定

◆『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づき、町内の省エネ・省資源、廃棄物の減量化などに関わる取り組みを推進し、温室効果ガス排出量を削減することを目的に、「北広島町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定。

◆計画期間

基準年度を平成30年(2018年度)とし、2030年度末

◆対象範囲

北広島町役場の全事業拠点の事務及び事業

◆削減目標

	年 度	二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	基準年度比 削減目標
基準年度排出量	2018 年度	7,879 t-CO <sub>2</sub>	—
目標年度排出量 (短期)	2025 年度	7,485 t-CO <sub>2</sub>	5%
目標年度排出量 (長期)	2030 年度	7,091 t-CO <sub>2</sub>	10%

